

問 12. 最後に、今後女性の健康啓発活動支援のためにとりあげてほしい施策をご自由に記載願います。

#### 39 歳以下

- ・ 医療者と一般女性が気軽に会える機会を提供する。
- ・ 学校教育から自分の体について考える授業を増やし理解と興味を持たせる。
- ・ 今回のようなものとお祭りみたいなもの。
- ・ 産業保健の中で母子保健の取り組み。
- ・ 産褥うつや育児ストレス等へのアプローチや専門外来の有無など。
- ・ 女性における健康問題は何かに掛かるべきか判り難い。女性外来の一般化。
- ・ 千葉県の男性により参加して欲しい。

#### 40 歳以上

- ・ 更年期を上手に対応し、生き生きと活動する発表も必要かと思った。ほてりや頭痛などの対応について具体的なスキルを参考にできた。
- ・ 思春期の問題について掘り下げて欲しい。肥満や脂質問題も興味あり。
- ・ 女医の全国リスト化。女性専門外来のリスト化。リタイヤ女医の復帰場所の提供。
- ・ 女性が社会進出できるよう、育児、出産などの補助するなどの保障を。
- ・ 大小医療機関に関係なく看護師の相談機能窓口を設ける。専門医の派遣を県が保障して欲しい。
- ・ 勉強会の実施。